

2015年7月10日承認

2015（平成27）年度 第1回 中国地区英語教育学会 理事会議事録

日時：2015年（平成27年）6月27日（土）11:15～12:15

場所：鳥取大学 地域学部1階 大会議室

- 出席者： 足立和美、深澤清治、樋口慎一、飯島睦美（会長）、小山尚史、猫田英伸（事務局）、大谷みどり、高橋俊章、竹野純一郎、山根正樹
- 欠席者： 堂鼻康晴、松浦伸和、白石信之、渡部靖徳

理事会の開催に先立ち、飯島会長より挨拶があった。

【報告事項】

1. 第46回中国地区英語教育学会（鳥取大会）について

足立大会事務局長より、事前参加申込数40名弱、当日参加予定者数15～16名、鳥取大学の学生参加者数15名について報告があった。

2. 『中国地区英語教育学会研究紀要』第45号について

足立前紀要編集委員長より、『中国地区英語教育学会研究紀要』第45号の編集について報告があった。学会賞については学術論文賞と教育論文賞いずれも該当者なしとの報告があった。また、今年度はpdfファイルの原稿も提出するよう執筆者に求めたこと、および印刷会社から届いた初校pdfファイルを執筆者に送付し確認を求めたことが報告された。来年度以降も同様の編集の流れを踏襲することが確認された。

3. 『中国地区英語教育学会研究紀要』査読基準の公表について

[資料8]

足立前紀要編集委員長より、資料8に基づき、事前にメール審議済（6月17日承認）の査読基準の公表（案）について報告があった。新しい査読基準を直後の総会において配布すること、およびWEB上で公開することが確認された。

4. 2015・2016年度役員等修正案

[資料9]

事務局より、資料9に基づき、2015～2016年度中国地区英語教育学会役員の所属の変更等が報告された。

5. ARELEの紀要編集委員、査読委員の選出について

[資料10]

飯島会長より、資料10に基づき、5月19日付にて全国英語教育学会紀要編集事務局（寺嶋健史先生）より依頼のあった「ARELE第27号の編集委員、査読委員の選出」について報告があった。理事会後、事務局より全国英語教育学会に対して6月29日付で同内容を回答した。

6. J-STAGE による『中国地区英語教育学会研究紀要』の公開について [資料 1 1]

事務局より、資料 11 に基づき、5 月 11 日に東京において開催された J-STAGE サービス説明会について概略が報告された。これに加え、今年度の本件関連業務は事務局が担当するとともに、その業務内容、作業量に鑑みて、今後対応を改めて協議する予定であることが報告された。

7. 第 43 回全国英語教育学会島根大会の準備状況について

高橋大会事務局より、現在の大会準備の進捗状況（大会 HP の準備状況等）および今後の見通しについて報告があった。

8. 全国英語教育学会 平成 27 年度第 1 回理事会について [資料 5]

事務局より、資料 5 に基づき、全国英語教育学会第 1 回理事会について報告があった。

9. その他

なし。

【協議事項】

1. 2014 年度会務報告・会計報告 [資料 1・2]

事務局より、資料 1・2 に基づき、2014 年度会務報告・会計報告について説明がなされ、審議が行われた結果、原案どおり承認された。その際、「中国地区英語教育学会理事会交通費」が約 14 万円予算超過している点については、昨年度、臨時理事会を 2 回（9 月 6 日、2 月 28 日）開催したことに起因していることが確認された。なお、会計監査の平本哲嗣氏（安田女子大学）と大森誠氏（松江工業高等専門学校）からの監査報告書により、適正な処理が確認されたことが報告された。

□ 資料 1：中国地区英語教育学会 2014 年度（平成 26 年度）会務報告 [A4 1 枚]

資料 2：中国地区英語教育学会 2014 年度（平成 26 年度）会計決算報告書 [A4 1 枚]

2. 2015 年度事業案・予算案 [資料 3・4]

事務局より、資料 3・4 に基づき、2015 年度事業案・予算案について説明がなされ、審議が行われた結果、原案どおり承認された。その際、「中国地区英語教育学会理事会交通費」の予算を例年の 20 万円から 30 万円に増額している理由は「臨時理事会 1 回分の開催経費」と「事務局による J-STAGE 対応のための旅費」であることが確認された。

□ 資料 3：中国地区英語教育学会 2015 年度（平成 27 年度）事業案 [A4 1 枚]

資料 4：中国地区英語教育学会 2015 年度（平成 27 年度）予算案 [A4 1 枚]

3. 全国英語教育学会研究大会の開催時期について [資料 5]

事務局より、資料 5 に基づき、3 月 29 日に行われた全国英語教育学会の第 1 回理事会において各地区学会に要請のあった「全国大会の望ましい開催時期の検討」の趣旨について説明がなされ、審議が行われた。その結果、「全国大会の開催時期を 8 月の第 1 週か第 3 週のどちらかに決めてしまう

ことは、開催可能な県、会場を制限してしまうことにつながり、ローテーションで全国大会を開催している中国地区にとっては不都合である」という結論に至った。8月の全国英語教育学会の第2回理事会において、中国地区英語教育学会としては上述のとおり回答することが承認された。また、後の総会においてもこの回答原案を公表し、一般の会員（参加者の視点）からの異論の有無を確認することが承認された。

関連して、2017年度（平成29年度）の全国英語教育学会 島根大会と、同年度の中国地区英語教育学会 広島大会（予定）の同時開催の可能性について審議がなされた。2017年度に全国英語教育学会 島根大会で発表を行うすべての中国地区の会員に、前年度（2016年度）の全国英語教育学会費を補助するなどの案も検討されたが、周知徹底が困難かつ事務作業が繁雑になることに加え、受益者負担の原則にも反するため望ましくないという結論に至った。最終的に、2017年度は中国地区英語教育学会 広島大会（予定）も開催することで、中国地区英語教育学会にのみ所属する会員に、例年どおり発表の場・機会を提供することが提案され、承認された。また、合わせて、全国英語教育学会にも入会している中国地区の会員に対しては、可能な限り島根大会での発表を勧めることが確認された。

4. 『中国地区英語教育学会研究紀要』投稿・執筆要項規程（案）について [資料6]

事務局より、資料6に基づき、紀要への投稿資格の明確化の必要性について説明がなされ、審議が行われた。提案の趣旨は「シンポジウムなどを担当した中国地区の非会員の原稿が紀要に掲載されている実態に合わせる」とともに、「全国英語教育学会で発表した他地区の学会員が『中国地区英語教育学会研究紀要』に単著論文あるいは共著の筆頭著者論文を投稿することを予防する」ことである。審議の結果、原案に一部修正を加えたものが承認された。来年度6月開催予定の理事会において、竹野紀要編集委員長より最終案の提示がなされるとともに、その後の総会において承認を得ることが承認された（適用は来年度から）。

5. 新たな学会賞の設置について [資料7]

事務局より、資料7に基づき、前回理事会からの継続審議である学会賞に関する情報提供が行われた。他学会（英語教育系、医学系、理学系）の新人賞・研究奨励賞規定をまとめたものが提示され、本件についての今後の検討は竹野紀要編集委員長に引き継がれることが承認された。

6. 第47回中国地区英語教育学会（岡山大会）について

岡山地区の小山理事より、日程と会場について提案がなされ、次年度の大会は2016年度6月25日（土）に、岡山大学教育学部で開催されることが承認された。

7. その他

なし。

以上